

平成28年度

授業改善推進プラン



立川市立西砂小学校

〒190-0034 東京都立川市西砂町2丁目34番地の2
電話 042-531-2082 FAX 042-531-5269
ホームページ <http://www.tachikawa.ed.jp/es12/>

交通機関・西武拝島線「西武立川駅」下車徒歩10分
・立川バス 昭島駅南口発「松中団地操車場行」乗車、
「西砂小学校前」下車

1 本校の目指す学力

本校では、特に「知識技能」「思考力」「表現力」の力を育てていきます。そのために、国語科の「読むこと」を中心として、確かな読みの力を育てる指導に重点を置き指導を進めています。また、算数科における習得型学習、読書指導、音読を生かした指導を充実させていきます。

2 本校の実態

今年度4月に実施した「東京ベーシック・ドリルを活用した効果検証調査」及び、7月に実施した「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果からみた本校児童の学力の実態や学習に関する意識、日常の学習の様子からみた児童の実態は以下のとおりです。

《「東京ベーシック・ドリルを活用した効果検証調査(平成28年度第1回)」の結果から》

- 立川市の平均正答率との比較では、学年によって差異がありました。2、5年生は平均を約2%上回り、継続的に東京ベーシック・ドリルに取り組んできた成果が見られました。3、4、6年はやや下回り、前学年の学習の定着に課題が見られました。
- 各学年共に、「数と計算」領域については、他領域に比べて、比較的高い正答率となりました。
- 2、3、4、6年生は「数量関係」についての正答率が低く、問題文を的確に読み取り、場面を想像して適切な解法を見出していくことに課題が見られます。線分図や数直線などを用い、場面を数量に表すことに難しさを感じている様子です。
- 3、5、6年生は「量と測定」における単位の換算の問題、複合図形の求積問題、人口密度を求める問題につまずきが見られました。単位についての確実な理解、複合図形を既習の図形に分割したり移動させたりするとともに計算を間違えないこと、単位量あたりの数について文章を確実に読み取り、立式することを苦手としている様子です。
- 全般的に、問題文を途中まで読んで解いてしまったり、何を聞かれているか理解できていなかったりするところが見受けられました。最後まで丁寧にやりきることはもちろん、条件と課題を確実に見取ることができれば解けた問題が多々ありました。他教科にも共通する課題だと考えます。

《「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果から》 ～5年生～

- 社会は東京都の平均を1.7%上回りましたが、国語は1.2%、算数は5.1%、理科3.9%下回る結果となりました。
- 4教科を70%の期待値で評価すると、国語と社会はほぼ期待値に到達しました。算数・理科は期待値をやや下回り、特に理科はやや課題が残る結果となりました。
- 「思考・判断・表現」の正答率は50%～80%、「技能」は40%～75%、「知識・理解」は50%～80%程度でした。教科によってばらつきもありますが、継続的な反復練習による習熟を図り、より確かな技能や知識を定着させる必要があると言えます。
- 「読み解く力」に関しては、国語と社会の「取り出す力」と、社会の「解決する力」は期待値に達しましたが、他は達しませんでした。粘り強く問題に取り組み、大切な事柄を手掛かりに着実に解決していくことに課題が見られます。
- 「学習に関する意識調査」において、「授業が分かる・どちらかという分かる」と回答した児童は、各教科共に87%～95%となり、学習に対する意識の高さがうかがえます。

【教科別の実態】

〈国語〉

- 「関心・意欲・態度」が90.1%、「授業が分かる」の回答が95%と、学習に対して良好な姿勢と言えます。
- 「書く」の結果は約40%であり、考えを整理しながら分かりやすく書く練習をすることが必要です。
- 「読み解く力」の中の、特に「解決する力」は30%に到達せず、資料を比較検討する力の育成を図る指導が必要だと考えます。

〈社会〉

- 「関心・意欲・態度」が97.5%、「授業が分かる」の回答が87%と、学習に対して良好な姿勢と言えます。
- 「思考・判断・表現」に少し課題が見られます。資料をから読み取ったことを活用する力を育成する必要があります。
- 都道府県名等の知識の確実な定着はもちろん、日常生活の様々な事象と日々の学習を関連付けて考える授業の工夫が必要と言えます。

〈算数〉

- 「関心・意欲・態度」は78.8%、「授業が分かる」の回答が93%と、学習に対して良好な姿勢と言えます。
- 「思考・判断・表現」に課題が見られます。解答の仕方を見つける力を更に身に付ける必要があります。
- 他教科に比べ「読み解く力」の値が低く、問題を正確に読み取り、論理的に考え解いていく力の育成を図る必要があります。基礎・基本の定着とその活用が今後の重点です。

〈理科〉

- 「関心・意欲・態度」が92.5%、「授業が分かる」の回答が95%と、学習に対して良好な姿勢と言えます。
- 「技能」と「知識・理解」において特に課題が見られます。観察や実験方法を的確に理解し実践することはもちろん、原因と結果を結び付けて考える力と、日常生活の様々な事象と関連付けて考える力を身に付けることが必要です。

《日常の学習の様子》 ○：成果 ●：課題

| | | |
|--------|----|--|
| 1 年 | 国語 | ○平仮名 50 音の表記は、9 割の児童が定着しています。読み取りは、問いと答えの文を理解し、根拠を明確にした簡単な文を書くことができるようになってきています。 ●音読では、平仮名の拾い読みをしている児童が数名います。 |
| | 算数 | ○加減法については、9 割の児童が定着しています。(繰り上がりなし、繰り下がりなし) ●文章問題において、正しく立式できるのは7割の児童です。さらに正しい答えを書くことができるのは4割の児童です。 |
| | 生活 | ○朝顔の世話に、意欲的に取り組んでいました。 ●観察カードに、観察したことを文章で表現することに課題があります。 |
| | 音楽 | ○歌と楽器の演奏に、意欲的に取り組んでいます。 ●鍵盤ハーモニカを、正しい運指で弾くことに課題があります。 |
| | 図工 | ○楽しんで活動に取り組んでいます。 ●用具を正しく使い、想像をふくらませて活動することに課題があります。 |
| | 体育 | ○表現活動・鬼ごっこ・固定施設などに、意欲的に取り組んでいます。 ●勝敗を受け入れること、規則を守ることに課題があります。 |
| 2 年 | 国語 | ○意欲的に学習に取り組み、自分の考えを書いたり発表したりできます。 ●漢字の定着については、個人差が大きいです。 |
| | 算数 | ○筆算(2桁同士の繰り上がりあり・繰り下がりあり)の加減法については、8割の児童が定着しています。 ●文章問題で、正しく立式できない児童が2割います。時計と時刻の学習では、正確に答えられない児童が4割います。 |
| | 生活 | ○交流・探検・観察・世話などの活動に、進んで取り組むことができます。 ●観察カードに、観察したことを文章で表現することに課題があります。 |
| | 音楽 | ○歌と楽器の演奏に、意欲的に取り組んでいます。 ●鍵盤ハーモニカを、正しい運指で弾くことに課題があります。 |
| | 図工 | ○絵画・工作ともに意欲的に取り組めます。 ●用具を正しく使い、想像をふくらませて表現することに課題があります。 |
| | 体育 | ○走遊び・鬼遊び・固定施設を使った動きなど、身体を動かすことに意欲的に取り組めます。 ●器械器具遊びの技能面において、個人差が大きくなってきています。 |
| 3 年 | 国語 | ○相手を見て、話を聞くことが少しずつ身に付いてきています。 ●自分の考えや思いなどを順序立ててまとめたり、お互いに伝え合ったりする力に課題があります。また、漢字の習熟に課題があります。 |
| | 社会 | ○調べ学習に対し、意欲的に取り組むことができます。 ●資料から分かることを読み取る力の個人差が大きいです。また、分かったことを自分の言葉でまとめる力に課題があります。 |
| | 算数 | ○自力解決時に、意欲的に自分の考えをノートに書くことができます。 ●文章題から場面を想起し、立式する力については個人差が大きいです。問われていることを理解していない場合があります。 |
| | 理科 | ○観察や実験に対して、意欲的に取り組むことができます。 ●既習の知識が、実感を伴って理解されていないようです。 |
| | 音楽 | ○学習に対する関心がとても高く、意欲的に音楽活動に取り組んでいます。 ●リコーダー等の演奏技能の個人差が大きいです。 |
| | 図工 | ○題材に対するイメージを膨らませる活動に慣れている児童が多く、色々な材料を抵抗なく創作活動に取り入れることができます。 ●膨らませたイメージを形にする段階で技能が伴わず、表現しきれない児童が多く見られます。 |

| | | |
|--------|---|---|
| | 体 育 | ○楽しみながら体を動かし、向上心をもって取り組むことができます。 ●ボール操作について、課題があります。 |
| 4 年 | 国 語 | ○毎日の音読や漢字の練習に、意欲的に取り組むことができます。 ●話の中心をとらえて聞くことに課題があります。 |
| | 社 会 | ○新しい学習に対して、興味をもって取り組むことができている。 ●都道府県名や位置など、知識の定着に課題があります。 |
| | 算 数 | ○基礎・基本の定着を図るために、計算練習などに日々取り組んでいます。 ●自分の考えを、図や言葉で説明することに課題があります。 |
| | 理 科 | ○実験したことや考えたことを、意欲的にノートなどに記録することができます。 ●既習事項や経験を理由にして、予想を立てる力に課題があります。 |
| | 音 楽 | ○少人数での表現に対して抵抗が少なく、グループ活動での表現の高まりが見られます。 ●鑑賞したことを、言語で表現することが苦手な児童が見られます。 |
| | 図 工 | ○材料や道具に関心を持ち、楽しみながら作品づくりができます。また、発想力が高く、自分なりに工夫する児童が多く見られます。 ●材料や道具の使い方の基礎基本を定着させる必要があります。 |
| | 体 育 | ○めあてをもって、意欲的に運動に取り組んでいます。 ●鉄棒運動やマット運動を苦手とする児童が多い傾向があります。 |
| 5 年 | 国 語 | ○説明文において、筆者の考えを読み取り、要旨を捉えることができます。 ●4年生で習得すべき漢字が身に付いていません。また、語彙力が不足しており、読み取ったことから推論し解決することに課題がみられます。 |
| | 社 会 | ○地形の様子が、地域によって違いがあることを理解できています。 ●都道府県名とその位置、国名と大陸の位置が定着していません。また、グラフの読み取りができていません。 |
| | 算 数 | ○習熟度別の学習を行うことで、それぞれの課題に合わせて学習を進め、意欲的に取り組むことができている。 ●4年で学習した「2桁でわるわり算」が定着しておらず、「小数のわり算」でのつまずきが見られました。また、あまりの小数点の処理に対する理解が不十分です。 |
| | 理 科 | ○安全に気をつけて実験することができています。 ●「変える条件」「同じにする条件」を整理しながら、実験方法を考えていくことへの理解が不十分です。また、温度計や星座早見など、用具の正しい使い方の理解が不十分です。 |
| | 音 楽 | ○情景を想像し、表現して歌う活動が充実してきました。 ●旋律の特徴を見付け表現に結びつけることに、苦手意識を感じている児童が見られます。 |
| | 図 工 | ○材料の特徴を生かし、色や形の組み合わせを色々と試すなど、よく考えながら意欲的に取り組んでいます。 ●感じたことや想像したことから表現することに、課題があります。 |
| | 家庭科 | ○調理器具や裁縫道具などを積極的に使い、実践しようとする意欲があります。 ●裁縫・調理などの実習では、個人差が大きいです。 |
| | 体 育 | ○水泳では、ペア学習をすることで、教える側教えられる側双方の泳力が伸びています。 また、補助倒立ができるようになりました。 ●柔軟性、バランス感覚が弱いです。 |
| 外国語 | ○興味関心をもって、楽しく活動することができています。 ●大きな声で発話しない児童がいます。 | |
| 6 年 | 国 語 | ○多くの本や文章を読み、読書の範囲を広げることができています。 ●目的や意図に応じて事柄が適切に伝わるように、話の構成を工夫しながら話すことが苦手な児童が見られます。 |
| | 社 会 | ○歴史の学習においては、興味や関心が高いです。また、調べ学習の際に、資料の見方が分かるようになってきました。 ●人物名、出来事、年代など、知識が定着していないところがあります。 |

| | |
|-----|---|
| 算 数 | ○習熟度別の学習を行うことで、それぞれの課題に合わせた学習を進め、意欲的に取り組むことができています。 ●文意を読み取り、立式していく力が弱いようです。 |
| 理 科 | ○安全に気をつけて、実験や観察をすることができています。 ●実験や観察の結果から考察することに、課題があります。 |
| 音 楽 | ○打楽器演奏に対する関心が非常に高く、全身を使って音楽表現することを楽しんでいる児童が多く見られます。 ●思いや意図をもって歌うことについて、人任せになってしまうことがあります。 |
| 図 工 | ○今までの経験から道具や表現方法を選択し、つくることができます。また、材料から発想を広げ、表現することができます。 ●最後まで、意欲をもって活動出来ない児童が数名います。 |
| 家庭科 | ○調べ学習・話し合い・実習など、どの児童も意欲的に取り組んでいます。 ●実習では個人差が大きいです。学習したことを生活に生かそうという意識の高い児童とそうでない児童の差があります。 |
| 体 育 | ○互いに教え合い学び合う学習を通して、個人の課題がはっきりし、技能が伸びています。特に水泳ではペア学習をすることで、教える側教えられる側双方の泳力が伸びています。 ●運動経験に差があり、運動に対して消極的になってしまう児童がいます。 |
| 外国語 | ○英語の表現に慣れ親しんで活動し、意欲的に取り組めた。 ●自信をもってコミュニケーションを取ることに課題がある。 |

3 授業改善策

「東京ベーシック・ドリルを活用した効果検証調査（平成28年度第1回）」「児童・生徒の学力向上を図るための調査の結果」「日常の学習の様子」を踏まえ、2学期以降の児童の学力向上に向けて、次のような授業改善を図っていきます。

全学年共通の取組

- 国語を重点教科として、「読むこと」の指導に力を入れ、全ての教科の基盤となる読解力の向上を図っていきます。そのために、読み取りのスキルを学年の発達段階に応じて指導し、積み重ねさせていきます。また引き続き、毎日の「音読」を全学年の共通課題として取り組んでいきます。
- まず結論を伝え、次にその理由を添えるという話し方・書き方を定着させていきます。
- 算数では、ドリル学習等習熟を図る学習を取り入れ、基礎的な知識理解を定着させていきます。また、習熟度に応じた問題解決型の学習を通して、説明したり活用したりする力を育てていきます。

教科ごとの取組 各学年・専科における具体的な授業改善策

国語

- ☆ 朝読書、家庭学習での音読を継続すると共に、国語辞典を活用した日常の授業を通して、読解力・語彙力を高めていきます。
- ☆ 話の聞き方や話し方を具体的に指導し、話の内容を正確に受け止め、自分の考えをもてるようにします。
- ☆ 説明文や物語文など読解の指導では、文法を指導すると共に、中心となる語や文を捉えて文章を正しく読み取る力が付くように授業を工夫していきます。
- ☆ 体験したことや自分の思い・考えを書けるよう、作文指導に力を入れていきます。

1年

- ・平仮名や片仮名、漢字を正しく使って文章を書くことができるよう、日記の宿題に取り組ませる。(週1回)
- ・言葉の意味を考えながら文章を読むことができるよう、音読の宿題を毎日出すなど読む機会を増やしていく。親子読書を行い、意欲的に音読に取り組むことができるようにする。
- ・根拠を明確にした簡単な文を書くことができるように、ヒントカードなど教材を工夫する。

2年

- ・ペアやグループの話し合い活動を取り入れて、自分の考えを交流する機会を多く設ける。発表の話型は、結論⇒理由を定着させる。
- ・漢字（平仮名・片仮名を含む）を正しく使って文章を書くようにする。日記の宿題を週1回出す。
- ・音読を毎日宿題で取り組み、言葉の意味を考えながら文章を読むことができるようにする。語彙力向上を目指し、読書を推進するため親子読書を行い、音読が楽しく取り組めるようにする。
- ・根拠を明確にして簡単な文を書くことができるように、ワークシート等を工夫する。サイドラインを引いて、キーワードを見つけられるようにする。

3年

- ・家庭学習での音読を継続し、授業の中で読み取りを深めるための手助けとする。
- ・話の中心となる点を落とさずに聞き、他の意見と関連付けて発言する力を育てる。
- ・作文指導で文章構成をしっかりと考えながら、段落を意識して書けるように指導の工夫をする。

4年

- ・家庭学習での音読を継続すると共に、授業の中での音読の機会を多く設定し、読解力を高める。
- ・言葉に着目し、文章を読み取る力を育てる。
- ・話の中心となる点を落とさずに聞き、他の意見と関連付けて発言する力を育てる。
- ・作文指導を充実させ、構成を整えながら、自分の思いを表現できるようにする。

5年

- ・朝会時の校長先生の話の聞き取りメモに、継続的に取り組む。
- ・4年の漢字、復習テストを行う。
- ・読書の取り組みを充実させる。(読書カード、教師による読み聞かせ)

6年

- ・学習の初めに意味調べをする。
- ・講話のメモをとることで、要点をとらえ自分の考えをまとめる練習をする。

社会

- ☆ 児童の興味・関心を大切に、自ら問題を発見する力を育てます。
- ☆ 体験→課題発見→調べる→まとめる＝課題解決型授業を通し、資料活用の力を育てます。
- ☆ 生活と関連付けながら、地理・歴史・環境・世の中のしくみ等の基礎的な知識を身に付けられるようにします。

3年

- ・体験活動を通して児童の興味関心を高め、自ら問題を発見する力を育てる。
- ・調べ学習と、調べたことをまとめる学習を効果的に取り入れ、資料活用の力を育てる。
- ・地図の読み取り方や地図記号の知識を定着させるため、繰り返し練習する。

4年

- ・問題解決型学習を通して、自分で資料を活用しながら調べる力を育てる。
- ・都道府県名と位置について学習し、テスト等を実施しながら定着を図る。

5年

- ・日本地図、世界地図を教室に掲示する。
- ・地図帳を効果的に活用する。
- ・グラフから課題を見つける授業を取り入れる。

6年

- ・歴史に関する図書や映像資料を活用する。
- ・ワークシートを活用して、学習内容を定着させる。

算数

- ☆ 基礎的・基本的な学習内容の確かな定着を図るために、東京ベーシック・ドリルを活用した朝ドリル学習・授業内の復習テスト・放課後補充指導などの個別指導を充実していきます。
- ☆ 学習内容や難易度などを考慮し、適正な習熟度別グループを編成し、多様な学習形態で個に応じた指導を行っていきます。
- ☆ 習熟度や単元に応じて問題解決型学習を取り入れながら授業を進め、説明したり活用したりする力を育てていきます。

1年

- ・加法、減法の計算問題を繰り返し練習させ、定着を図る。
- ・文章問題を自力で解決する力を養うため、図や絵で表す練習をする。

2年

- ・基本的な計算（1桁同士の加法、減法等）を授業開始時5分間で練習し、繰り返して定着を図る。
- ・文章問題は、自分で考える時間を設ける。サイドラインを引き、図等で表して立式できるように繰り返し練習する。

3年

- ・習熟の時間を設定し、基礎的・基本的な内容の確かな定着を図る。
- ・習熟度別で学習を進め、個に応じた指導を充実させ、理解を深めていく。
- ・習熟度や単元に応じて問題解決型の学習を取り入れ、自分の考えをもつことができるようにする。

4年

- ・習熟の時間を設定し、基礎的・基本的な内容の確かな定着を図る。
- ・習熟度別や等質グループでの学習を進め、個に応じた指導を充実させ、理解を深める。
- ・習熟度や単元に応じて問題解決型の学習を取り入れ、自分の考えをもち、伝えられるようにする。

5年

- ・復習プリント、9年間ドリル、東京ベーシック・ドリルを効果的に活用する。
- ・家庭学習の内容を検討し、より課題に合ったものにしていく。

6年

- ・9年間ドリル、東京ベーシック・ドリル、計算ドリルなどを活用する。

理科

- ☆ 科学的な概念や法則との出会いを大事に、興味や関心をもって、知識を習得できるように丁寧に指導を行います。
- ☆ 観察や実験の場面を多く取り入れ、実物を観たり実際に操作したりするといった体験活動を通して、学習内容の定着を図ります。
- ☆ 実験や観察が体験活動のみで終わらないよう、予想を立てたり根拠を考えたりする時間を充実させ、事後の話し合い活動やノートの整理を工夫し、体験と知識を結び付けます。

3年

- ・観察や実験の場面を多く取り入れ、体験的な活動を通し、学習内容の定着を図る。
- ・観察の技能を身に付けさせるために、観察の視点を明確に設定する。
- ・予想や結果について、思考をめぐらせる時間を十分に確保する。

4年

- ・観察や実験を生かし、体験的な活動を通して学習内容の定着を図る。
- ・課題に対して予想と結果をノートに書かせ、考察する場面を設定する。
- ・既習事項や経験を基に予想を立て、説明できるようにする。

5年

- ・実験を行う前に、「変える条件」と「同じにする条件」を表に分かりやすくまとめる。
- ・使い方を分かりやすく提示したり、日常的に使う場面を設定したりする。

6年

- ・考察のまとめ方を具体的に示し、考察をまとめる練習を継続的に行う。

生活

- ☆ 体験活動やたてわり活動を大切にし、一人一人の生活力、コミュニケーション能力を高めます。
- ☆ 人・地域・自然との関わりを大切に学習を工夫します。
- ☆ 意思決定をすることの必要な場面を取り入れた学習を工夫します。

1年

- ・引き続き意欲的に取り組むことができるように、身近な自然や動植物を題材として扱う。(動物に関しては、見学を実施する。)
- ・観察対象を細かく観察する力を養うために、観察する視点を明確にしていく。

2年

- ・交流や探検はグループ活動を取り入れて、自主的に活動できるようにする。
- ・観察や世話を継続的に行えるように、身近な自然や動植物を題材として扱う。
- ・観察の視点(ポイント)を掲示して、細かく観察する力を養うようにする。

音楽

- ☆ のびのびと表現するための基礎的な能力を育てます。
- ☆ 思いや意図をもって表現したり工夫したりする児童を育てます。
- ☆ 人とかわりながら表現を深めていくような音楽活動を目指します。

低学年

- ・楽しみながら取り組めるように、体を使った表現活動を取り入れていく。
- ・発表や表現に対して抵抗感のある児童には、発表形態を工夫するなどして自信をもってできるようにしていく。
- ・頭声発声を意識して、歌うようにする。
- ・楽器の演奏方法を説明して、全員が楽器に触れられるようにする。
- ・鍵盤ハーモニカの学習を、毎授業の20分間継続的に行い、練習時間を確保する。

中学年

- ・集中して学習に向かえるよう活動にメリハリを付け、基礎的な演奏技能が身に付くようにする。
- ・安心して表現できる環境をつくり、個々で表現する経験を積み重ねる。
- ・旋律の特徴を体の動きで表現するなど具体的な活動を増やして音楽を捉えられるようにする。

高学年

- ・イメージしやすい発問を工夫することで、楽しみながら基本が身に付くようにする。
- ・曲想や楽曲の感じを表す語彙を増やし、目指したい音楽表現について言葉で表しながら音楽をつくっていく。
- ・ペア学習やグループ学習を通して友達の表現のよさに気づかせ互いの表現を大切にさせる。

図工

- ☆ 造形意欲をもって、生き生きと活動する児童を目指します。
- ☆ 材料に親しみ、思いや意図をもって表現したり工夫したりする児童を育てます。
- ☆ 作品や素材との出会いに心動かされるような気持ちを育てます。
- ☆ 造形活動を通して、つくりだす喜びを味わうことを目指します。

1年

- ・想像力を膨らませて作品を作ることができるよう指示の仕方を工夫する。
- ・はさみなどの道具の扱いに個人差があるため、楽しみながら扱う練習ができる題材を工夫する。
- ・巧緻性を高めるために手を使う題材を多くする。

2年

- ・見本を見ながら制作すること続けながら、想像力を膨らませられるよう指示の仕方を工夫する。
- ・道具(はさみ等)の使い方に個人差があるため、時々練習する機会を設ける。

3年

- ・創作活動に役立つ技能を知ったり、試したりする時間を多く取り入れる。
- ・いろいろな材料を使う楽しさを味わいながら工夫する力を伸ばす。

4年

- ・用具の使い方を繰り返し学習し、楽しんで表現しながら基礎的な力を付けるようにする。
- ・いろいろな材料や用具を経験させる。

5年

- ・材料や用具の特徴をもとに発想し、楽しく表現できるようにする。
- ・鑑賞の時間を多く設け、友達の表現のよさや美しさを感じとる力を深めるようにする。

6年

- ・今までの経験や培った技能を生かし、形や色、表し方、用具の使い方などを自分なりに工夫しながら表せるようにする。
- ・鑑賞で発表を行い、自分の作品や友達の表現の意図やよさに気づかせ互いの表現を大切にさせる。

家庭科

- ☆ 生活の自立に向けて、生活に生きる実践的・体験的学習を積極的に導入した学習を目指します。
- ☆ 人・もの・自然との関わりを大切にした学習を工夫し、学んだことを自分の生活に取り入れることができるようにしていきます。

5年

- ・調理や裁縫の基本を重点的に取り組ませる。
- ・学習したことを、生活に取り入れようとする態度を育てる。

6年

- ・実践的・体験的な学習を行い、基本的な技能を身に付ける。
- ・学習したことを生かして生活を豊かにしようとする態度を育てる。

体育

- ☆ 学習カード・学習資料や教材・教具の工夫をし、一人一人がめあてをもって学習に取り組みながら確実な力が身に付けられるような学習を工夫します。
- ☆ 児童が互いに学び合えるように、学習の進め方を工夫します。
- ☆ 日常的な取組を通して運動に親しみ、併せて持久力、走力の向上を図ります。

1年

- ・学習カードなどを活用して意欲的に取り組むことができるようにする。
- ・事前に規則の確認を行う。説明は低学年の児童が理解しやすいように工夫する。

2年

- ・目標がもてるように、学習カードを活用して、意欲的に取り組めるようにする。
- ・規則を守ることで、楽しく活動できる経験を重ねていくようにする。
- ・器械器具への意欲を高める場の設定を行う。

3年

- ・学習カードなどを用いて、技能面のポイントを分かりやすく示す。

4年

- ・運動の質を高めるため、学習カードや教材、教具の工夫を行う。
- ・技のポイントを分かりやすく示す。
- ・チームやグループでの学び合いの時間を確保し、運動能力や体力の向上を図る。

5年

- ・準備運動で柔軟性やバランス感覚を養う運動を意識的に取り入れる。
- ・自己の能力に適した練習方法や場を選べるようにする。
- ・チームやグループでの学び合いの時間を確保し、運動能力や体力の向上を図る。

6年

- ・学習カードや掲示物を活用し、技能のポイントを分かりやすく示す。
- ・自己の能力に適した練習方法や場を選べるようにする。
- ・チームやグループでの学び合いの時間を確保し、運動能力や体力の向上を図る。

外国語活動

- ☆ 外国語の音声・表現に慣れさせ、積極的にコミュニケーションをとろうとする態度を育てます。
- ☆ 日本と外国の文化や生活、行事の違いを知り、ALT等との交流を通して文化に対する理解を深めます。

5年

- ・個別に発話する機会をもち、声に出すことへの抵抗を少なくする。

6年

- ・ゲームを多く取り入れ、楽しくコミュニケーションをとれるようにする。
- ・児童を褒める声かけを進んで行い、自信がもてるようにする。

【道徳教育の指導の重点】

- ・全教育活動を通して、正しく判断し、相手を思いやり、社会に貢献する道徳的実践を促し認め励ます。
- ・「規範意識」「善悪の判断」「勇気」「思いやり・親切」「生命尊重」を中心に様々な手法を通して豊かな心情や実践意欲を育てる。

【生活指導の重点】

- ・月別生活目標の指導を通して、自律的生活習慣を確立し、基本的な社会のルールを身に付けさせる。
- ・教育相談体制や研修を充実し、一人一人の子どもの理解を深め、全教職員でいじめや不登校の早期発見・対応に努める。
- ・安全指導の時間を有効に使い、学校内外の事故や問題行動等を未然に防止する態度を養い解決に努める。
- ・セーフティ教室・交通安全教室・避難訓練・校外パトロール・地域安全マップの作製などを計画的に実施し、児童の危機回避能力を培う。
- ・生活指導の充実を図るため、七中校区スタンダードを策定し、活用する。

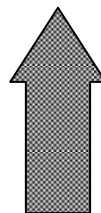
学校教育目標
 ○思いやりのある子ども
 ◎自分の考えをもつ子ども
 ○健康で明るい子ども

学校経営方針の柱から
**「グローバル時代を生きる、
 知徳体のバランスの取れた子どもの育成」**

本校における「確かな学力」

○判断力 ●課題解決能力
 ●表現力 ●知識・技能
 ○学ぶ意欲
 ○学び方
 ○課題発見能力
 ●思考力

本校では、これらの力の中で、とりわけ●の力を育てるため、国語「読むこと」を中心として深く読み取る力を育てる指導に重点を置き指導を進める。また、課題解決型学習、読書指導、音読を生かした指導を工夫していく。



○学習指導要領
 ○東京都教育委員会
 教育目標
 ○立川市教育委員会
 教育目標
 <学校教育の指針>
 ● 確かな力
 ● やさしい心
 ● 個を輝かせ
 ● 社会のために

【特色ある教育活動の重点より】

- ・豊かな言語活動を育むため「専門家による語り聞かせ」「朝読書」「読書週間」等、読書活動充実を図る。
- ・縦割り班遊び、伝承遊びなどの活動を通し、助け合い、学び合う態度を養う。
- ・地域の特性を活用した栽培活動や勤労生産的活動・体験を通して自ら考える力や実践力を育成する。
- ・学習支援者、ボランティアを積極的に取り入れ、幅広い教育支援活動の充実を図る。

【小中連携教育活動を通して】

- ・相互授業参観を行い、地域の子どもの良い点・課題を明確にする。
- ・分科会協議を行い、学力向上のために必要な授業の在り方・展開、態度育成のための生活面からの支援を、小中両者の視点で考える。
- ・校区で作成した9年間ドリルを活用し、児童生徒の基礎基本の定着を目指す。

| 本校の授業改善に向けた視点(◎は重点) | | | | |
|--|---|--|--|---|
| 指導内容・指導方法の工夫 | 教育課程編成上の工夫 | 校内研究や研修の工夫 | 評価活動の工夫 | 家庭や地域社会との連携の工夫 |
| ◎国語「読むこと」の指導を充実させ、読み取る力の育成を図る。 ◎地域教育力を活用し、多様な学習活動を展開する。また、体験的な活動を重視し、学習活動の充実を図る。 ○朝の東京ベシック・ドリルタイムや朝読書の時間、及び放課後補充指導を有効活用し、基礎・基本の学力の定着を図る。 | ○月時間割の作成を通して適正な授業時数を確保し、計画的な教育活動を行う。 ○農業体験や栽培活動、キャリア教育など、地域の特性や人材を活かした教育活動を年間を通して計画的に位置付ける。 ○会議を精選し、教材研究の時間を確保する。 | ◎自力解決型の学習を通して思考力を高める。 ◎「読む」活動を通して児童の読解力の向上を図る。(校内研究) ◎研究会、実技研修会を通して、教師の授業力を向上させる。(一人一授業に取り組む。) ◎指導課訪問・巡回アドバイザーによる訪問、小中連携の際の授業参観等を通して、教師の授業力を向上させる。 ○相互授業参観を行う。 | ◎各教科の学習後、振り返り活動を行い、児童の自己評価力、相互評価力を高める。 ○児童による授業アンケートを実施する。 ○評価規準を適宜見直し、適正な実施を図る。 | ◎積極的に学校を公開し、学校教育への理解を深めていただくとともに、地域の教育力を活用する。 ○学校評議員や地域、保護者による学校関係者評価を実施し、結果を教育活動の改善に活かす。 ○夏季休業中に個人面談(保護者)を設定し、児童の課題について知らせ、連携を図る。 ○HPや学校便り、学年学級通信を通して発信し、連携を図る。 |

4 学力向上に向けた、ご家庭での取組のお願い

○家庭学習時間(学年の数×10分)に取り組ませましょう。(宿題は毎日必ず行わせましょう。)

○音読をさせましょう。

○家族のコミュニケーションを大切にしましょう。

○基本的な生活習慣を身に付けさせましょう。

家庭での学習習慣の確立、基本的な生活習慣の確立が、学校での学習を支える基盤となっています。家庭での学習時刻・時間・場所の設定、テレビやゲーム・携帯電話等の利用のルールの設定、読書の習慣等について、家庭でよく話し合い、きちんと決めていくことが大切です。学校・家庭・地域が連携し、子どもたちの学習や生活の充実を図っていきましょう。